

## 第2回～第4回総合計画審議会における委員の意見分類表

区分	委員意見	
第1章 背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍による様々な変化⇒（課題解決、変革のためのツールとしての）デジタル活用（資料16などより）</li> <li>・コミュニティの弱体化に加えコロナ禍などによる多重不安（第2回要点録より）</li> <li>・五次総策定時よりも大きい切迫感（社会・地球環境）（第4回要点録より）</li> </ul>	
第2章 まちづくりの基本理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が参加できる、市民が活躍できる⇒関係人口（第4回グループ①議論より）</li> <li>・サービスの受け手から参加者（資料16より）</li> <li>・自分事（資料16などより）</li> </ul>	
第3章 将来都市像	<p style="text-align: center;">審議会における委員の意見</p> <p><b>【循環】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人的、物的、経済、資源、時間軸※など（第4回グループ③議論よりなど）</li> <li>※巣立っていった子どもたちがふるさとに帰ってくることも包含</li> </ul> <p><b>【関係・場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやり、生かしあう（第4回グループ①議論より）</li> <li>・かがやく（資料16より）</li> <li>・元気でいきいき（資料16より）</li> <li>・誰もが笑顔になれるまち。いのちかがやく、にぎわいのあるまち（資料16より）</li> <li>・支えあい（第4回グループ①議論より）</li> <li>・お互い様、思いやり、信頼（第4回グループ①議論より）</li> <li>・分かち合い（第4回グループ①議論より）</li> <li>・共助（第4回グループ②議論より）</li> <li>・すべての市民が力を発揮でき、参加できるまち（第4回グループ①議論より）</li> </ul>	<p style="text-align: center;">総合計画市民ワークショップにおける参加者の意見</p> <p><b>【循環】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の文化の継承</li> <li>・老朽化した施設の改修</li> <li>・自然環境</li> <li>・市外に出ても、また帰ってきたくなるようなまち</li> </ul> <p><b>【関係・場】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつまでもみんなが集まりあこがれるまち</li> <li>・人があつまり、人を集めるまち</li> <li>・市民同士のネットワーク、つながり</li> <li>・市民の意見が実現しているとわかるまち</li> <li>・年齢・性別を超えて市民が団結</li> <li>・地域コミュニティの活性化</li> <li>・元気・活気あふれるまち</li> </ul>

第2回～第4回総合計画審議会における委員の意見分類表

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 選びなおせるまち（第4回グループ①議論より）</li> <li>• いたわり・よろこび・共感（資料16より）</li> <li>• 余白のあるまち、フィールド（第2回要点録より）</li> <li>• 共生社会（資料16より）</li>   <li><b>【成長】</b></li> <li>• 市民が強くなる ゆたかなまち（資料16より）</li> <li>• 生き抜く術を身に付ける場所や機会の用意（第4回グループ①議論より）</li> <li>• コンピテンシー（文化の自己決定力・主体的な能力・自分で考える力）（鷲尾委員講演、第4回グループ②議論より）</li>   <li><b>【多様性／混在】</b></li> <li>• 世代、性別・性自認・性的指向、障害、国籍・人種、ライフスタイル、価値観、生物など（を認め合い大切にする）（第2回要点録より）</li>   <li><b>【安心】</b></li> <li>• 安心、いきいき、ふるさと（第4回グループ①議論より）</li> <li>• セーフティネット（第2回要点録より）</li>   <li>• ポストベッドタウン、ネオニュータウン（宮本副会長講演、第4回グループ①、②議論より）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>【成長】</b></li> <li>• とともに成長するまち</li> <li>• みんなが未来に向けて変わっていけるといいう未来像を抱けるまち</li> <li>• 現在あるものをアップデート</li>   <li><b>【多様性／混在】</b></li> <li>• 世代、性別、障害、国籍、生物の混在・共存</li> <li>• 新旧の融合（学び・インフラ・暮らし・観光）</li> <li>• 「暮らし」と「働く」のハイブリッド</li> <li>• ワークライフバランスのとれるまち</li> <li>• どんな人でも生活しやすい</li> <li>• ペットにやさしい</li>   <li><b>【安心】</b></li> <li>• 安心安全なまち</li>   <li>• New ニュータウン計画</li> <li>• モデルケースとしての市</li> </ul>
--	--	--

## 第2回～第4回総合計画審議会における委員の意見分類表

第4章 目指すまちの姿	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもが市民として育つ、成長しふるさとに戻ってくるまち（資料16より）</li><li>・女性が（多摩市へ）来て、産んで、育てる（第4回グループ①議論より）</li><li>・子どもを産み育てるのに頼れるひとがいるまち（資料16より）</li><li>・子育てに自分事として参画する（資料16より）</li> <li>・高齢者が生きてよかったとおもってもらえるまち、たくさんのお年寄りが住み続けられるまち（資料16より）</li><li>・障がい者が孤立しないまち（資料16より）</li> <li>・地域をともにつくる（資料16より）</li><li>・（デジタルデバイドを）助け合う・支える（資料16より）</li><li>・多様なライフスタイルを認め合う（資料16より）</li><li>・文化あふれるまち（資料16より）</li> <li>・多様性と共生が尊重される、多面的なまち（資料16より）</li><li>・LGBTQ や障がい者（第4回グループ③議論より）</li> <li>・シニアだけでなく若者（転入超過のボリュームゾーン）・女性の参画の仕組みがあるまち（資料16より）</li><li>・女性活躍（第4回グループ②議論より）</li><li>・若者活躍（第4回グループ②議論より）</li><li>・エルダー人材の活用（第4回グループ②議論より）</li><li>・若者・高齢者の活躍でつながるまち（資料16より）</li><li>・退職男性＝お荷物 or 資源（資料16より）</li> <li>・市民生活に生きる産業をつくる（資料16より）</li><li>・民間との連携（第4回グループ①議論より）</li><li>・住民と行政と企業（クロスセクター）（第4回グループ②議論より）</li></ul>
-------------	--

第2回～第4回総合計画審議会における委員の意見分類表

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルデバイド問題を通じた女性や退職者の社会参加（資料16より）</li> <li>・デジタルの進むまち（資料16より）</li> <li>・ポストベッドタウン（第4回グループ②議論より）</li>   <li>・15分都市圏（鷲尾委員講演より）</li>   <li>・地球環境の問題は土台（資料16より）</li> <li>・環境問題を自分事にとらえる（資料16より）</li> <li>・循環型社会、食、エネルギーも地産地消（資料16より、第4回グループ③議論より）</li> <li>・農あるまち、農業（資料16より、第4回グループ③議論より）</li> <li>・温暖化対策としては、無理なガマンをするのではなく、楽しく賢く温室効果ガス排出が少ないライフスタイルに転換（有賀委員講演より）</li> </ul>
<p>第5章 目指すまちの姿の実現に向けた基本姿勢</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15分都市圏（鷲尾委員講演より）</li> <li>・「テクノロジー・ファースト」から「ピープル・ファースト」（鷲尾委員講演より）</li> <li>・デジタルデバイド（第4回グループ②議論より）</li> <li>・デジタルの進むまち（資料16より）</li> <li>・民間との連携（第4回グループ①議論より）</li> </ul>